

老人(ひとり暮らし高齢者)給食サービス事業



【如意学区】

■世帯数：1,960 世帯

■人 口：4,913 人

■面 積：0.714k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 如意会館（コミュニティセンター）において、65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とした給食会を年6回開催。毎回約35人が参加。
- 給食ボランティアが中心となり、民生委員、女性会などの協力により手づくりの料理を提供するとともに、誕生日会や警察・消防署等の講話、参加者による作品づくりなどを行っている。

【住民へのPR方法】

対象者全員に民生委員からお知らせを毎回配付

【アピールポイント】

料理はすべて手づくりで、毎回参加者の好評を得ている。また地域から野菜等の無償提供を受けている。ボランティアの大部分が20年あまり、継続して活動してくれている。

2 きっかけ、背景

学区福祉推進協議会が設置され、ひとり暮らし高齢者の給食事業がその事業対象とされたことによる。給食ボランティアを募集したところ、10人ほどの応募があり、平成3年度より実施した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

給食ボランティア 10 人が主体となり、民生委員、女性会で運営。
(毎回約 15 人で運営)

(2) 他団体との協力

民生委員協議会、女性会

(3) 運営協力

給食ボランティアが高齢化しているため、後継者を育成する必要があると思っている。

4 実施のスケジュール

- ・ボランティアグループ A により 2 回開催
- ・ボランティアグループ B により 2 回開催
- ・民生委員を中心に 2 回開催 (うち 1 回は女性会の協力を得ている)

給食ボランティアによる学区事業への協力

- ・盆踊り大会においてきしめん販売の模擬店を担当
- ・敬老会等への協力

5 成果と課題

(1) 成果・効果

男性の参加者が少しずつではあるが、増えてきている。

(2) 今後の課題・展望

給食ボランティアの半数が、70 代と高齢化しており、担い手の世代交代が今後の課題。

